

西濃圏域合併協議会第24回会議

市議会にも諮らず「ごみの有料化」と 徳山ダムの水利用を盛り込んだ「新市建設計画」を可決

6月10日、第24回西濃圏域合併協議会が開催され、「ごみ・し尿収集運搬及び処理業務について」と「新市建設計画」についての2つの協定項目が可決されました。合併協議会はあと6月25日の合併協議会を残すのみとなりました。まだ議員定数、都市計画税等の重要問題が残されていますが、それらを含めて強引にまとめようとしています。6月25日17時、フォーラムホテルで開かれる合併協議会を傍聴し、監視しようではありませんか。

ごみ有料化決定

ゴミ袋大20円・小10円

4月28日の第21回合併協では、ごみの有料化（指定ごみ袋・引換券方式でごみ袋大10円・小5円）の調整案が否決され、常任委員会に差し戻しとなりました。そして、第23回合併協で2つのごみ袋有料化案が提案されました。

問題は、二つの案とも当初案よりごみ袋の値段が2倍も3倍も高くなっているのに、その内容は市民に全く知らされず、市民の意見を反映することなく決めてしまったことです。

否決となった第21回合併協で、Y大垣市議員は「ごみ問題は地方自治法の中で当然行政のやるべき業務として位置付けている。そのために私達は税金を払っている。ごみ処理はすべて本来なら無料であるのが基本」と発言しているのに、その発言をくつがえし、大垣市議員の合併協委員（自民クラブ4名、民主クラブ1名、公明1名）全員が、原案よりも高い有料化に賛成し、可決しました。

また、大垣市議会には合併特別委員会が設置されていますが、ごみ有料化の修正案が出されてから1度も

開かれておらず、市民無視のまま進められました。また、大垣市議会には合併特別委員会が設置されていますが、ごみ有料化の修正案が出されてから1度も開かれておらず、市民無視のまま進められました。

大垣市の現状	ごみシール制 基本的に無料	
原案	指定ごみ袋・引換券 大10円、小5円	第21回会議 否決
修正案1	指定ごみ袋・引換券 大20円、小10円	第24回会議 可決
修正案2	指定ごみ袋・引換券 大30円、小20円	



徳山ダムの水利用のためか！？

新市まちづくり計画(案)に追加文書

新市建設小委員会でまとめた「新市まちづくり計画(案)」は県との事前協議にかけられ、その結果主要施策の「上下水道の整備」の部分で、新たに、以下の文書が追加されていました。

「地盤沈下や地下水汚染が懸念されるため、河川の利用等水源の多元化を図ります。」

これは何を意味するのでしょうか？ 徳山ダムの水利用と思われそうですが、その具体性については何も明らかにされないまま、24回合併協で可決しました。

大垣市民の意向はどう反映されるのか？

合併協議会は残すところ1回だけです。重要協議項目を6つも残したまま、6月25日の合併協ですべてを決めてしまうようです。その後、他の自治体では、調印の前に住民説明会を各地で開催するとのことですが、大垣市はそのような予定は今のところ明らかにしていません。

3月議会で、私は住民意向調査を要求しましたが、大垣市はその意思はなく、全く住民軽視で終わりました。また、協議項目の多くが「新市において調整する」という白紙委任に近い調整内容になっているなど、市民には新市の将来が見えてきません。大垣市長をはじめ合併協委員は、調印する前に大垣市民に説明する義務があるのではないのでしょうか。

市会議員 笹田トヨ子

スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ

TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/>

e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp